

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立御殿場特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立御殿場特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	193名

1. 使用状況

寄贈物品名	三味線
使用学年及び人数	中学部3年 10名
使用頻度	2学期に3時間
使用状況	中学部3年音楽「日本の楽器と音楽を知ろう」で使用。
物品の使用による変化や効果	いくつかの和楽器(琴、締太鼓、三味線)を紹介し、「さくらさくら」などの演奏を動画で視聴した。「津軽じょんがら節」の視聴では、鑑賞しながら三味線の演奏を促すと、演者の激しい奏法をまねるように、強く撥で音を出す生徒が多かった。撥を使って音を出すことに興味をもったようで、3つの楽器の中ではもっとも関心を示していた。
今後の活用の見通しや課題	今後も継続的に和楽器に親しむ学習に取り入れていく。 体験的に触れて終わってしまいがちなので、演奏できる人を授業に迎えるなど、生徒の興味関心を高める工夫もしていきたい。
その他希望や所感など	生徒にとってあまり馴染みのない楽器であったが、三味線を弾いてみたい、触ってみたいという意欲が強く、楽器に対する興味関心の幅を広げることができた。

2. 活用の様子

